

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果(幡羅小学校)

平均正答率

(単位 %)

	国語	算数
幡羅小	63	64
埼玉県(公立)	65	69
全国(公立)	64.7	70.2

質問紙調査より

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「している」「どちらかといえばしている」を合わせた値

(単位 %)

	質問事項	幡羅小	埼玉県	全国
生活習慣	朝食を毎日食べている	95.7	95.5	94.9
	毎日、同じくらいの時刻に寝ている	85.5	83.2	81.2
	毎日、同じくらいの時刻に起きている	87.0	91.4	90.4
	学校の授業以外に、平日、1日あたり30分以上読書をしている(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)	31.9	39.5	37.4
学習習慣	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	75.4	76.1	74.0
	学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる	89.8	81.6	78.3
	5年生までに受けた授業で、課題解決に向け、自分で考え、自分で取り組んでいた	82.6	81.9	78.2
	学校の授業時間以外に、平日、1日当たり1時間以上勉強をしている(学習塾等で勉強している時間も含む)	69.5	65.0	62.5
教科への関心	国語の勉強は好きだ	59.4	57.9	58.4
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	91.3	91.6	91.8
	算数の勉強は好きだ	59.4	66.8	67.8
	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	94.2	92.4	92.6
その他	自分には、よいところがあると思う	82.6	78.0	76.9
	将来の夢や目標をもっている	89.8	81.4	80.3
	人の役に立つ人間になりたいと思う	91.3	94.9	95.5
	今住んでいる地域の行事に参加している	65.2	57.1	58.1

幡羅小の「よかった点 (○)」と「課題 (●)」

【国語】

- 過去の問題に取り組み、問題に慣れさせることで、無解答率がとても少なかった。また、わかるところを確実に解答していたり、最後まで問題を解いたりしていた。(県の平均無解答率は約4.04%に対し、本校は約1.65%)
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使ったり、文の中における主語と述語の関係を正確に捉えたりする問題の正答率が全ての問題で全国や県より上回っている。
- 文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事項を把握したり、中心となる語や文を見つけて要約したりする問題の正答率が低かった。
- 目的に応じて、文章と図表とを結びつけるなどして必要な情報を見つけることはできているが、与えられた条件にあわせて記述することに課題がある。

【算数】

- 無解答率がとても少ない。(県の無解答率は約2.79%に対し、本校は約1.81%)
- 棒グラフから数量を読み取ったり、項目間の関係を読み取ったりする問題の正答率が高い。また、児童の解答用紙から速さや割合、図形などの公式が身につけていることがわかる。
- 基本的な計算をすることはできるが、図や式、言葉を使って記述することに課題がある。(記述式問題の平均正答率は、県が約50.7%に対し、本校は約42.75%)
- 公式は身につけているが、理解が十分ではない。公式を覚えるだけでなく、意味までしっかり理解できていないと活用することが難しい。

【質問紙】

- 「今住んでいる地域の行事に参加している。」と答えた児童の割合は65.2%おり、全国や埼玉県より地域とのつながりを大切にしている児童の割合が多い。
- 「1日あたりの読書時間が30分未満」と答えた児童の割合は68.1%おり、読書をする習慣が身につけていない児童が全国や埼玉県より多い。

課題への取組・改善策

【国語】

- ・引き続き、コラム学習やミニ作文等を取り組ませていく。朝の学習だけでなく、週末の宿題に「週末作文」に取り組み、文章を書く機会を意図的に設けるようにする。また、書き方のパターンを決めておき、確実に身に付けられるようにする。
- ・朝学習や学力向上旬間を活用して、初見の文章問題に数多く取り組んだり、単元ごとの評価テストで中心となる事項や根拠となる記述を見つける活動を行ったりするなどし、読解力を高める。

【算数】

- ・深谷市授業スタンダードやベーシックを基にした「幡羅小授業スタンダード」を見直し、全職員で共通理解し、わかる授業を展開する。
- ・授業では、図・式・言葉を使って自分の考えを書くことができるようにするために「4コマ説明」を取り入れ、整理しながら書けるようにする。
- ・授業のまとめでは、課題とまとめの整合性を図ることはもちろん、まとめ方を工夫し、自分で考えてまとめを書けるように指導していく。

【その他】

- ・自主学習などに活用するようなプリントが入っている「はたらっこボックス」を充実させ、活用率を上げるようにする。
- ・読書をする習慣を身につけさせるため、図書館補助員や図書委員会と連携し、新着図書の紹介や読書月間の取組、図書コーナー等を充実させていく。また、「家読」の取組も継続し、家庭への協力も呼びかけていく。

